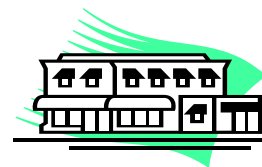


総領事館便り 6月号



＜総領事館ニュース 2017.6＞

★第15回スラバヤよさこい祭り

在スラバヤ総領事館はスラバヤ市及び高知市との共催で、7月9日（日）に Balai Budaya（スラバヤ市文化ホール）において第15回スラバヤよさこい祭りを開催予定です。今年は高知市・スラバヤ市姉妹都市関係締結20周年を記念して、高知市から、高知市市長、高知市・スラバヤ市姉妹都市委員会委員長、経済関係者、高知市民の皆様約45名がご来訪されます。開会式では、本場高知市の踊り子によるよさこいパフォーマンスが披露され、高知市観光ブースにてよさこいワークショップも開催される予定です。スラバヤの伝統的舞踊であるレモ踊りを鑑賞することもできますので、是非会場に足をお運び下さい。詳細は後日、当館ホームページに掲載する予定です。なお、審査員を募集しておりますので、高知に縁のある方、特等席でご覧になりたい方、経験不問ですので、諸平 (kaori.morohira@mofa.go.jp) までご連絡ください。

●日時：7月9日（日）

●場所：Balai Budaya 2階（Jl. Gubernur Suryo）



昨年の様子 PT.SAI による「Colorful SAI」



ASPELTAJ（東ジャワ舞踊指導者協会）

★Festival Rujak Uleg 大会への参加

スラバヤ市文化観光局から東ジャワジャパンクラブへの招待状を受け、5月14日、松代総領事代理及び交流部代表者が、日本チーム代表として、スラバヤ市制施行724年記念行事 Festival Rujak Uleg に参加しました。スラバヤ市長らと共に、各国チーム代表がジャワ料理の代表である Rujak の調味料をつぶす（Uleg する）イベントで、当日はユニークな衣装に身を包む参加者もあり、盛り上がりました。ご参加いただいた皆様、炎天下の中お疲れ様でした。



当日の様子



★第38回東ジャワ地区弁論大会の実施

5月21日（日）、ドクターストモ大学にて、在スラバヤ日本国総領事館及び国際交流基金共催、東ジャワジャパンクラブ（EJJC）及び元日本留学生協会（プルサダ）東ジャワ支部の後援で、第38回東ジャワ地区日本語弁論大会が開催されました。今回の東ジャワ地区弁論大会には各学校から選抜された大学生や日系企業で勤務する社会人、計13名が出場し、出場者は家族の大切さや自分の経験に基づいて得た教訓、ポジティブに生きる秘訣などを、弁論を通じて熱く語りました。

優勝したのは8月17日大学（UNTAG）のアンドレヤス・クリスティヴィアン・ダニ。『家族の時間「人生は変われる」』と題した弁論で、ネガティブな考え方からポジティブな考え方をもつよう努力した結果、家族の絆が強まり人生が変わったと語りました。準優勝は、当地日系企業（久光ファルマ・インドネシア）に勤務するアルベルトさん。大好きなゲームをきっかけに日本語に興味を持ち、大学で日本語を専攻、日系企業に就職したアルベルトさんは、粘り強く努力を続けることの大切さを説きました。また3位には、人生の目標をもつ大切さ、勉強しつづける決意を表明したブラウィジャヤ大学のデリマ・プトリ・ムジアニさん。観客には、当地大学関係者やEJJC会員の方、日本人留学生や、過去の大会の優勝者・準優勝者の姿も見られました。優勝者、準優勝者にそれぞれ賞金を授与していただきました東ジャワジャパンクラブ、審査員を務めてくださいました大谷会長、村下スラバヤ日本人学校校長、会場に足を運んでいただいた皆様に対し、心より御礼申し上げます。優勝者・準優勝者は7月22日（土）にジャカルタで行われる全国大会に出場します。東ジャワ代表者として頑張ってもらいたいものです。



奨学部会からの賞金を授与する大谷会長



全員集合写真